

任がないといはれなかつた涙もろい西郷は、そのことを考へながら、星を仰ぎ深い溜息をついた。

愛宕道旭、外山光輔兩卿は、士族に下して切腹、小河眞文、高田源兵衛、古賀十郎、市岡敬二、足田源二は庶民に下して斬首、水野正名、丸山作樂は終々禁獄

の原因はそして責任は、明治新政府にあるのではない
か。
と思つた。殊に丸山作樂のときは、政府の軟弱外交に對しつねに激烈に攻撃をしてをつたことを、西郷はよく知つてゐるだけに、翁

—— だいたい、いまの政
府の中心は、薩州、長州、
土州だ。



明治大正昭和

(第三回)

第二百五十六回

運命の星 (四)

(上) 桜痴齋著 (下) 桜痴齋著

上映及上場

(三)

5

その他十數人にいづれも極刑……

運命の星（四）

——斯ういふ人物を世の
情を催す前に、なぜかういふ内政破壊の徒黨を生んだかを、西郷は考へてみた。
そして、この場合

がわるかつた。

——さうだ。こゝらで政
府當路者の入れ替る時期か
しれん。人間を新しくして
政治を更新する明治新政府
が樹立してからまだいくば
くも経たんが、どうやら少
し型にはまりかけた様だ。

々徵がはへかけたぞ。朝鮮征伐は、わし一人の思想だけではいがん。故山に歸つても一度とくと考へ直してから決行しても遅くはないから、わしは、もう政治はいやだ。

□確實敏捷は

の生命なり

■良品廉賣に勝る商格なし
磐城平町五丁目 電話九番九九

度の内政攪亂の一方の旗頭として起つたのは當然のや

にも不平なのだ。この調子で薩長土の芋づるを將來も

わしもそろそろ故山へ歸つ
ていゝかしれぬぞ。

磐城セメント會社特約店

すまり寫く良に明鮮に殊は秋

平驛前

旅行に!!ピクニツクに!!散策に
今こそカメラ、絶好のシーザン
素人に良く撮れるカメラとして
絶大的好評を博して居る

づみや
現興店

是非

御融通には御用命下さ
ります

三
井
質

平四。電六〇六番